



## これはだれの 痕跡？

登山道や園地を歩いていると、いろんな動物の痕跡にあうことができます。いったいだれの痕跡でしょうか。よく観察すると意外とすぐそばに動物たちが生活していることがわかります。

いくつかわかりましたか？

### A クマ棚



ツキノワグマは木の実を食べるためにミズナラなどに登り、枝を折って、たぐり寄せながら食事します。このため、木の上にこのような枝の塊ができます。とても高い場所にあるので、木登りが得意なことが実感できます。

### B 食事処



室堂周辺など、高山帯を歩いていると、松ぼっくりの破片が固まって落ちていることがあります。これはホシガラスの食事処です。大好物のハイマツの実をもぎ取ると、平らな岩の上などへ運んで食べます。

### C 空っぽのクルミ



市ノ瀬周辺には穴が開いたり、半分に割れたりした空っぽのクルミの実が落ちています。穴が開いているのはアカネズミなどの野ネズミが、半分に割れているものはニホンリスがクルミを食べた跡です。

### D 足跡



登山道で泥や砂地などのやわらかい地面を観察すると、人以外の足跡が見つかることがあります。センサーカメラによる調査では、カモシカやイノシシなどの動物たちも登山道を利用していることが分かっています。